

エコアクション 21

環境活動レポート

<第8版>



まるさん共栄製茶農業協同組合は2011年12月14日エコアクション21認証・登録されました



レポートの対象期間：平成30年2月～平成31年1月

発行日：平成31年7月31日



共栄製茶農業協同組合

目 次

目次	1
環境方針	2
事業の概要	3
実施体制組織図	4
環境活動計画	5
中期目標	6
環境への負荷実績	7
取組み状況と結果の評価、次年度の取組	13
環境関連法規	14
代表者による全体評価と見直し	15
参考事項：お茶アラカルト	16

【 環 境 方 針 】

【 基本理念 】

共栄製茶農業協同組合は、安心、安全な荒茶を製造、再製加工をし、高品質なお茶を消費者に提供します。また、製造を通じて職員全員が環境保全の自覚と責任を持ち、茶文化の発展に取り組んでいきます。

【 行動指針 】

1. 電力・燃料の省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量、水利用料の削減に努めます。
2. 生産の効率化に努め、食品廃棄物の削減、再使用、再生利用を推進し、環境にやさしい商品作りを進めていきます。
3. 環境に配慮した資材・事務用品の購入に取り組みます。
4. 環境関連の法律を遵守します。
5. 全職員が環境活動の重要性を理解し、社会とのコミュニケーションにつとめます。



制定：平成 23 年 3 月 1 日

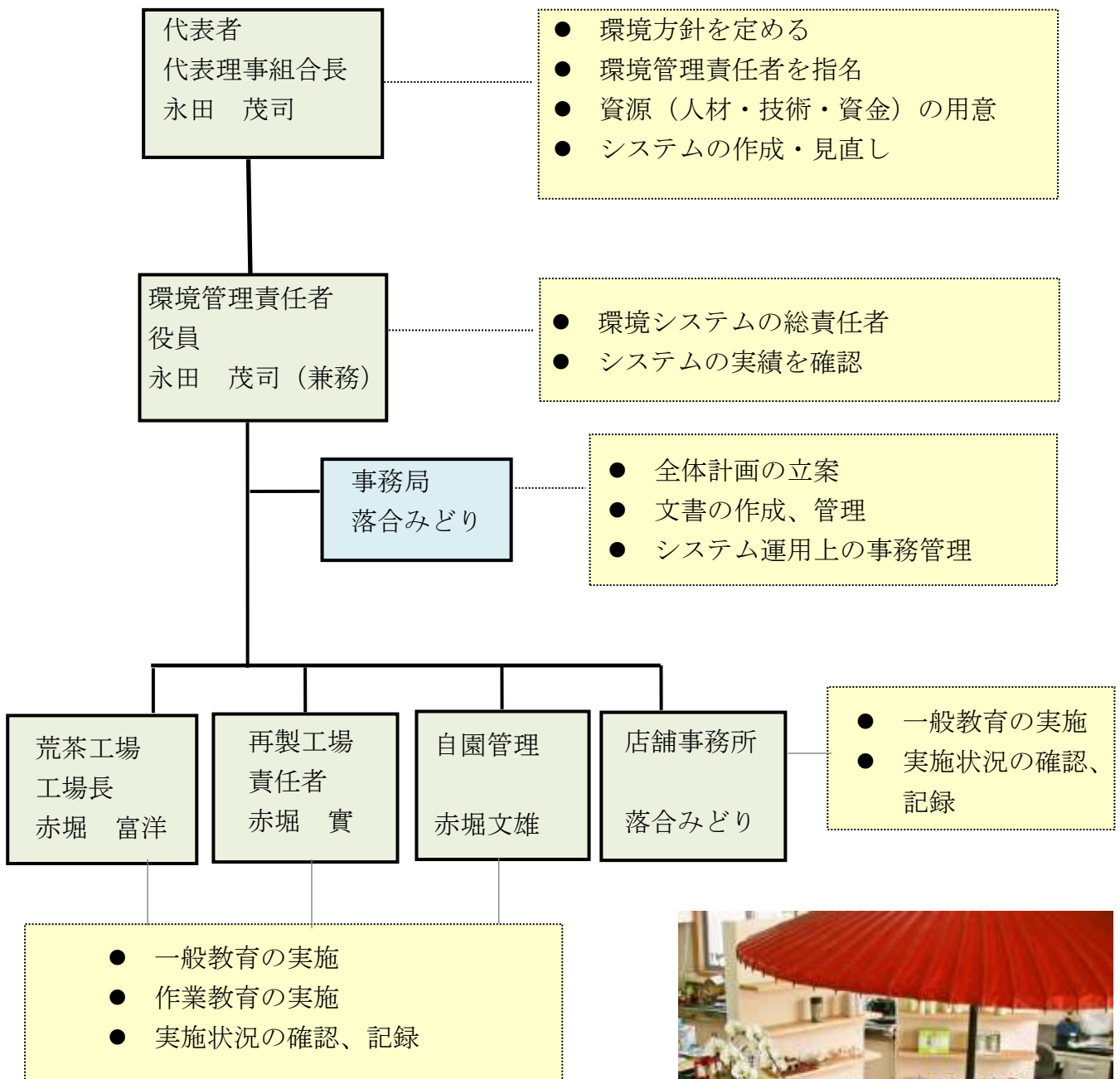
共栄製茶農業協同組合
代表理事組合長 永田茂司

事業の概要

1	事業所名	共栄製茶農業協同組合
2	代表者	代表理事組合長 永田茂司
3	所在地	〒439-0023 静岡県菊川市三沢 128-2
4	電話番号 FAX 番号	0537-36-2308 0537-36-1222
5	メールアドレス ホームページ	maru_3@shizuokanet.ne.jp http://www.maru-3.com
6	環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	環境管理責任者： 永田 茂司 担当者： 落合みどり
7	設立	昭和 26 年 5 月 8 日（前身 昭和 15 年創業 ㊦共栄産業組合）
8	出資金	9,045 万円
9	従業員数	6 名
10	延べ床面積	2672.6 m ²
11	事業内容	製茶の製造・販売、茶栽培指導・委託。
12	事業年度	2 月 1 日から翌年 1 月末
13	主要原料仕入れ先	菊川市三沢地区組合員・JA 遠州夢咲
14	主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社金吉商店 ・株式会社栗田園 ・その他茶専門店
15	加盟団体	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会 ・菊川市茶商組合 ・静岡県仕上茶取扱農協協議会 ・静岡県経済農業協同組合連合会
16	取扱商品	 <p>  深蒸し茶  くき茶  玄米茶  新茶贈答品 </p> <p>  焙茶  自園紅茶  煎茶ティーバッグ  </p>

実施体制組織図

平成 31 年 2 月 1 日作成



<対象範囲>

全組織・全活動を対象範囲として取り組んでいます

環境活動計画

平成30年2月1日～平成31年1月31日

取組み項目	内 容	実施部門
① 電力の削減	機械不使用時の電力の遮断・消灯	荒茶
	火入れ時の集中稼働	再製
	機械空運転の防止	
	冷蔵庫冷凍機の定期的な点検	再製
	空調機のフィルター清掃・定期点検の実施	再製
	エアコン温度設定の徹底	事務所
	エアコン使用時の遮光・カーテンの利用	
	工場使用箇所（区域）の部分点灯、消灯	再製
	パソコン機器未使用時の電源 OFF・通路トイレの消灯	事務所
② 化石燃料使用量の削減	製茶機械の集中稼働	荒茶
	余熱利用と火入れ時の集中稼働	荒茶・再製
	エコドライブ手順書の表示・周知・実行	営業・自園管理
	計画的な配達ルートの策定	事務所
	省エネルギー型証明器具への切り替え、消灯の徹底	
	ガスストーブ（灯油ストーブ）の有効利用・離席時の消火・ガスコンロの消火	再製 事務所
③ 廃棄物排出量の削減	廃棄物の圧縮（乾燥）減量	荒茶
	廃棄物の分別表示・分別の徹底	再製
	資材の再利用（包装材料・緩衝材）	
	適正在庫数量の製造	再製
	コピー用紙の再利用	事務
④ 食品廃棄物の削減 （シブ・茶くず）	資源再利用の促進	荒茶
	廃棄物の再製品化の促進	再製
⑤ 水使用量の削減	節水の推進	荒茶
	漏水の点検	再製
⑥ 環境保全	組合員の意識向上・環境教育	荒茶
	職員の意識向上・環境教育	事務所
⑦ トレサビリティの管理	茶園農家に対する農薬残効期間・肥料使用量の管理	荒茶・自園管理
⑧ グリーン購入	エコ事務用品の購入・グリーン購入法適合商品の購入	事務所
⑨ 環境配慮型商品の提案	環境に配慮した商品の提案	全体
	健康にやさしい商品の提案	

中期目標

平成 25 年度を基準年度に対比して削減%を設定する。

項目	単位	平成 29 年度目標		平成 30 年度目標		平成 31 年度目標	
		比	目標数値	比	目標数値	比	目標数値
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	-3%	270,568	-3%	270,568	-3%	270,568
購入電力 (排出係数 0.555kg-CO ₂ /kwh)	kwh	-3%	148,639	-3%	148,639	-3%	148,639
ガス(プロパン)使用量	kg	-3%	5,157	-3%	5,157	-3%	5,157
ガソリン使用量	リットル	-3%	1,320	-3%	1,320	-3%	1,320
灯油使用量	リットル	-3%	0	-3%	0	-3%	0
重油使用量	リットル	-3%	62,565	-3%	62,565	-3%	62,565
水排出量	m ³	-3%	381	-3%	381	-3%	381
一般廃棄物排出量	t	-3%	0.17	-3%	0.17	-3%	0.17
荒茶製造副産物(シブ・茶くず)のリサイクル率100%実施	%	100	100	100	100	100	100
トレサビリティの管理(茶園農家に対する農薬肥料の管理100%実施)	%	100	100	100	100	100	100
グリーン購入	点		努力する		努力する		努力する
環境配慮型商品提案	件	3	3	3	3	3	3

<備考>

1. 産業廃棄物(廃プラ)の排出量は少量の為、数値目標を定めない。
2. グリーン購入は、目標値が設定困難な為、具体的な数値目標を定めない。
3. 排出係数は、イーレックス(株)の平成27年度実績0.555(kg-CO₂/kwh)を使用している。
4. 一般廃棄物排出量は、リサイクル利用を除く数値に再計算した。

環境への負荷実績

◆環境活動実績：平成30年2月1日～平成31年1月31日

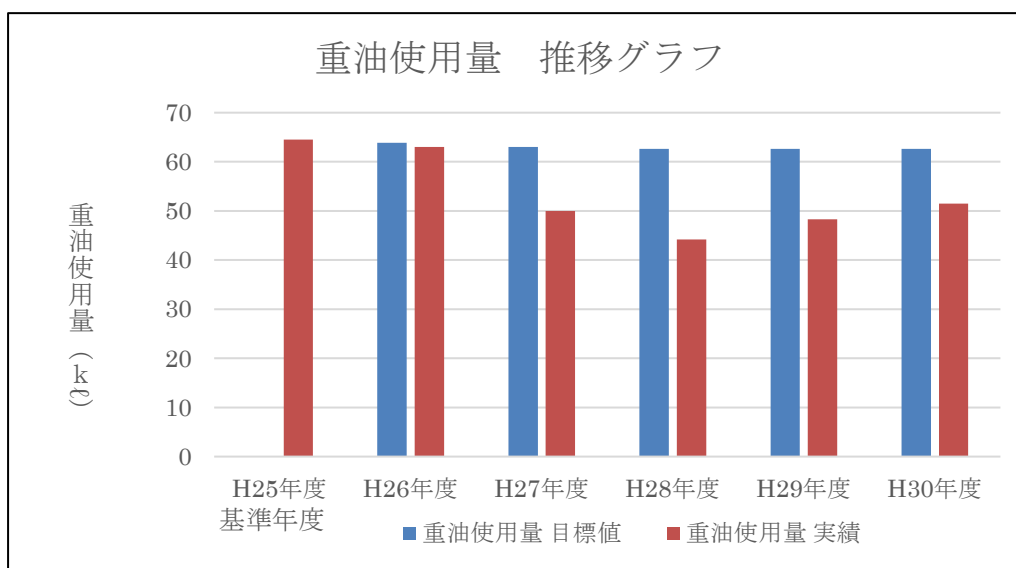
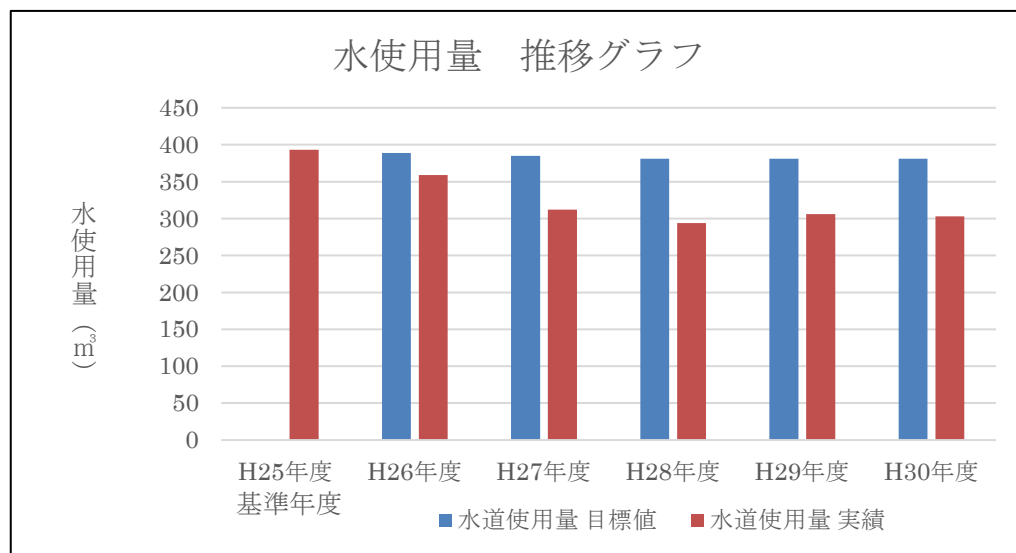
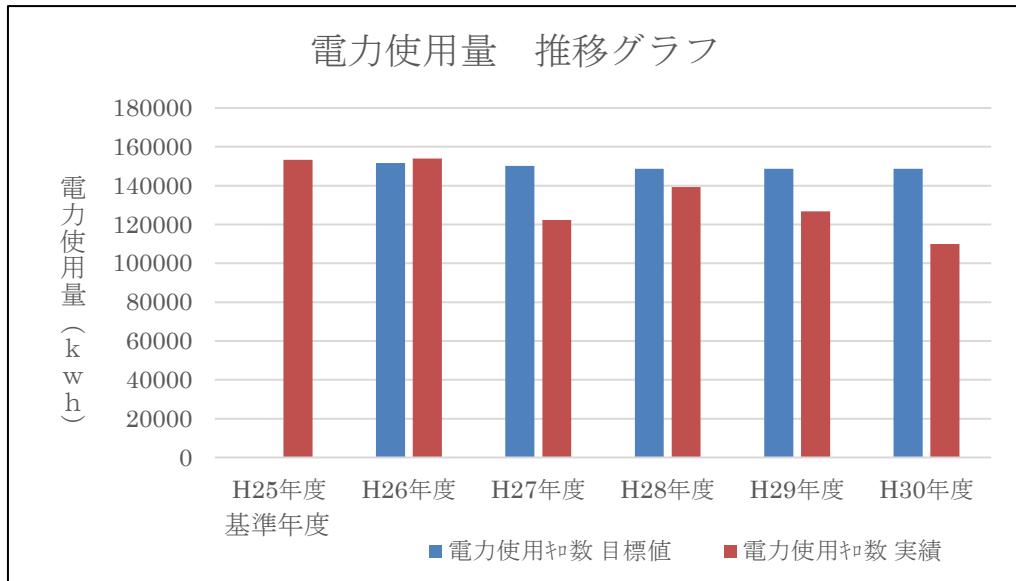
項目	単位	平成25年度 実績	平成30年度 目標値	平成30年度 実績	達成率	評価
		H25.3.1～ H26.2.28	H30.2.1～ H31.1.31	H30.2.1～ H31.1.31		
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	278,936 (100%)	270,568	215,513	-20%	○
	kg-CO ₂ /百万円	1445	1402	1550	10%	×
購入電力 (排出係数 0.555kg-CO ₂ /kwh)	kwh	153,236 (100%)	148,639	109,903	-26%	○
ガス(プロパン)使用量	kg	5,316.4 (100%)	5157	4067.8	-21%	○
ガソリン使用量	リットル	1,361 (100%)	1320	1189	-10%	○
灯油使用量	リットル	0 (100%)	0	0	100%	○
重油使用量	リットル	64,500 (100%)	62,565	51,500	-18%	○
水排出量	m ³	393 (100%)	381	303	-20%	○
一般廃棄物排出量	t	0.18 (100%)	0.17	0.12	-29%	○
荒茶製造副産物のリサイクル率100%実施	%	3.4t (100%)	(100%)	1.86t (100%)	100	○
トレサビリティの管理(茶園農家に対する農業肥料の管理100%実施)	%	(100)	100	100	100	○
グリーン購入	点	1点	努力する	0点	×	×
環境配慮型商品提案	件	0件	努力する	0件	×	×
売上高	百万円	193	-	139	-28%	-

<備考>1.評価について…○印は達成、△印はほぼ達成、×印は達成せず

2.二酸化炭素排出量2行目は、売上高当りの数値である(目標値は同様に-3%)

3.荒茶製造副産物とは、シブ・茶くずである

■運用期間実績データ

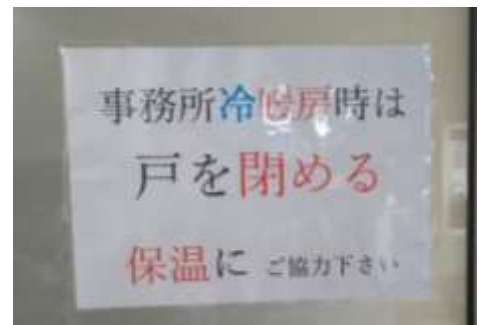


<備考>

平成 26 年度に目標値の基準年を H25 年度へ変更したため、それ以前の目標値はグラフにはありません。

◆主な取組内容

電力の削減



- ・遮光スクリーン・扇風機の併用で空調温度を適温に設定使用する。冷暖房時、戸締りの徹底。

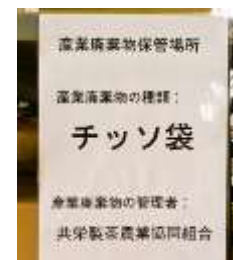


- ・退室時の照明 OFF
- ・通路・倉庫の消灯
- ・トイレの消灯
- ・トイレ洗浄設定の管理

- ・換気扇こまめな電源 OFF

廃棄物排出量の削減・リサイクルの推進

- ・分別表示
- ・ダンボールのリサイクル
- ・プラ包装資材のリサイクル



水使用量の削減



- ・ 節水の呼び掛け
- ・ 漏水のチェック
- ・ 節水型機器の利用



節水型トイレの利用



節水型洗濯機の利用

エコドライブ

- ・ 配送業者・来店営業者の出入り口へ啓発シールの掲示をする



「エコドライブ 10 のすすめ」従業員通用口への掲示



- ①ふんわりアクセル「eスタート」
- ②加減の少ない運転
- ③早めのアクセルオフ
- ④エアコンの使用を控えめに
- ⑤アイドリングストップ
- ⑥暖気運転は適切に
- ⑦道路交通情報の活用
- ⑧タイヤの空気圧をこまめにチェック
- ⑨不要な荷物は積まず走行
- ⑩駐車場所に注意

- ・ エコドライブ手順書から 呼びかけを車内にシール添付して喚起する

食品廃棄物の削減（100%再生利用）



「シブ」



「シブ・茶くずの茶畑での再利用」

- ・シブ・生葉・赤棒・茶くず等を堆肥として再利用（組合員の畑へ）

- ・分別表示



グリーン購入

グリーン購入手順書を職員通用口に掲示して喚起する



グリーン購入手順書 購入の基準とラベル表示

- ・エコマーク
- ・古紙 100%
- ・省エネマーク 等

反省会

H30.10.18

営業会議及びエコアクション 21 実施状況報告
と反省会を行う



<検討内容>

- *ホワイトボード（取りまとめ表）参照発表。
- *「廃プラ回収 BOX」店頭に置いてみる → 昨年取り上げたが、未実施の為再検討
- *工場部門の二酸化炭素排出量が多いので、集中稼働に努めてほしい。
- *冬場のガスストーブ使用方法を改善する。休憩時間以外は止める。扉の開閉に注意して使う。
- *販売予想数量を検討して、適切な商品梱包を行う様、再確認して欲しい。
- *環境に関するお客様からのクレームは無かった。

H30.10.18

重油漏れ訓練 緊急事態対応マニュアル

に基づく重油の漏洩対処訓練を行った



1. 人員の手配
2. 破損状況の確認
3. 通報（消防署・菊川市環境課）確認
4. 事故箇所の特定
5. 拡散防止
事故処理
(拡散防止給水パッド、土嚢使用)

取組み状況と結果の評価、次年度の取組

平成 30 年 2 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日

取組内容	内 容	評価と次年度の取組
電力の削減	機械不使用時の電力の遮断・消灯	○ 機械の集中稼働ができた。引き続き実施する。
	火入れ時の集中稼働	○ 空調の使用と、遮光カーテンの併用が徹底されてきた。推進する。
	工場空調の適温化（夏ドライ・冬 24℃）・必要時の集中使用と遮光カーテンの併用・扇風機の併用	○ 工場不使用区域の消灯に心がけた、推進する。
	事務所兼店舗の温度設定（夏 28℃・冬 23℃）。冷暖房時は戸締りを徹底する。	○ 冷蔵庫の温度管理、冷蔵庫ファンモーターを定期的に見回り、不具合が出ない様心掛けた。
	エアコンフィルターの掃除・定期点検	○
	工場使用区域の点灯・不使用区域の消灯	○
	冷蔵庫冷凍機・ファンの定期点検	○
	OA 機器未使用時の電源 OFF・通路・トイレ消灯	○
化石燃料使用量の削減	製茶機械の集中稼働で重油の使用量を減らす	○ 機械の集中稼働を行った。推進する。
	再製火入れ時の集中稼働による燃料の高効率化	○
	エコドライブの周知徹底と実行。社外業者にも喚起	○ ジャストインタイム配達を是正し、走行距離の
	計画的な配達ルートで走行距離を軽減する	○ 軽減を行った。推進する。
	配達ジャスト・イン・タイムサービスの見直し	○
ガストーブの有効利用・離席時の消火を心掛ける・ガスコンロの消火	△ 現場ストーブ利用が不徹底であった。 エココンロによる消火は効果的であった。	
廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別表示・分別を徹底する	○ 廃棄物の分別ができた。推進する。
	資材の再利用（使用済みダンボール利用）	○ 商品製造量が予見できず、梱包材が無駄になった。予想を再検討する。
	小袋の廃棄を減らす為に適正在庫数量を製造	△
	会議資料のペーパーレス化・コピー紙再利用	○ ペーパーの再利用ができた。推進する。
	簡易包装商品の優先購入	△ 店頭量り売りをもっと広めていきたい。
	店頭量り売りの推進	△
食品廃棄物の削減	資源（シブ・茶くず）再利用の促進	○ シブの排出量を管理し、茶畑への肥料利用を行った。来期は製品として販売予定。
	廃棄物の再製品化の促進	○
水使用量の削減	節水の推進	○ 節水に努めた。推進する。
	漏水の点検	○
環境保全	組合員の意識向上・環境教育・訓練	○ 個々の日報の内容を随時変更して、業務に即した環境教育を図る様、努めた。推進する。
	朝礼時に職員の意識向上・環境教育をはかる	△
	業務日報チェックにより個々に環境意識の向上	○
トレサビリティ	トレサビ（農薬の残効期間と施肥量の遵守状況）	○ 遵守した。推進する。
グリーン購入	エコ事務用品の購入（エコマーク商品手順書の利用）	× 努力する。
エコ商品の提案	環境に配慮した商品の提案 健康にやさしい商品の提案	× 努力する。

<備考>評価について…○印は達成、△印はほぼ達成、×印は達成せず

環境関連法規

(遵守状況確認 平成 31 年 7 月 10 日)

1.環境関連法規等の遵守状況（抜粋）

適用される法規制	適用詳細	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第 3 章産業廃棄物（産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準）第 11 条－第 13 条	遵守
	マニフェストの保管（廃棄物処理法第 12 条の 3 第 2、9、10 項）	遵守
	廃棄物再生処理業務委託契約書の保管	遵守
	産業廃棄物の保管場所に掲示板を設ける	遵守
	産業廃棄物の管理責任者の設置	遵守
	マニフェスト管理票の交付状況の報告	H30 年度は発生無し
消防法	製造所等の警報設備の設置（消防法第 37 条 令第 21 条）	遵守
	危険物（重油）の貯蔵及び取扱いの基準（消防法第 38 条の 4 項）	遵守
	危険物（重油）管理者の業務（消防法第 13 条 1 項）	遵守
食品リサイクル法	食品廃棄物等発生抑制及び減量化と再生利用の促進（法律第 116 号） （100%リサイクル）	遵守
容器包装リサイクル法	排出の抑制、容器包装廃棄物の分別収集、分別基準適合物の再商品化等の促進（業者に委託）	遵守
県生活環境に関する条例	騒音に係る特定施設設置届出書（施工規則別表第 8 第 14 項冷凍機（圧縮機を用いるもの）の届け	遵守
浄化槽法	年 1 回の浄化槽の清掃 ○浄化槽法（昭和 58 年法律第 43 号第 10 条）	H30 年 9 月 25 日
	年 1 回の浄化槽の法定検査 ○浄化槽法（昭和 58 年法律第 43 号第 10 条）	H31 年 1 月 28 日
	年 1 回の水質検査 ○浄化槽法（昭和 58 年法律第 43 号第 11 条）	H30 年 12 月 21 日
フロン排出抑制法	第 1 種特定製品（冷凍機 10.5kw）の簡易点検 3 か月に 1 回以上	H31 年 1 月 31 日
	第 1 種特定製品（冷凍機 10.5kw）の定期点検 1 年に 1 回以上	H30 年 10 月 11 日

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、当事業所に寄せられた苦情等もありませんでした。



代表者による全体評価と見直し

【確認事項】

1. 環境目標の達成状況
 2. 環境活動計画の実施及び運用結果
 3. 環境関連法規等の遵守状況
 4. 外部からの環境に関する苦情や要望等
 5. 環境経営システムの運用状況及び結果
 6. 問題点の是正の処置及び予防処置の結果
- *環境活動レポートにおいて確認

【見直し事項と指示】

1. 基準年を平成 25 年として新たに 31 年度まで、3 年間の中期目標を立てた。
2. 環境活動が定着していくように、手順書を活用して日常業務の中で指導していく。
3. 環境関連法規について改正情報等を収集し、法令順守を徹底する。
4. 客先を含めた外部からの発信情報を確実にキャッチして、事業活動に活かしていく。
5. 環境方針について、職員が日常意識できるように、掲示と唱和を行う。
6. 環境活動が定着化するように、緊急訓練及び勉強会を定期的に行う。
7. 荒茶副産物の 100%リサイクルを推進する。

【全体評価】

役員・職員が環境活動に熱心に取り組んでおります。環境教育の為の研修会を開き、さらに理解を求めてまいります。

共栄製茶農業協同組合
代表理事組合長永田茂司

参考事項：お茶アラカルト

かぶせ茶（被覆茶）被覆作業

「かぶせ茶」とは

青味がかつた湯の色を出す為に、葉の芽が出始めの頃から約 10 日間、遮光材で光を遮り、育成された茶葉を使って仕上げたお茶です。

光を遮る事で、アミノ酸がそのまま茶の味に残り、とても甘みのある上級茶ができあがります。

